

平成 29 年度第 1 回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成 29 年 7 月 15 日（土）午前 10 時～12 時

2 開催場所 中央図書館 2 階視聴覚室

3 出席者

（委員）押樋委員長 小出副委員長 埴委員 豊永委員 立松委員 須賀委員
伊勢田委員 高橋委員

（事務局）教育長 生涯学習部次長 中央図書館長 中央図書館副館長 総務係長
奉仕第 2 係長 総務係主任司書

4 傍聴人 0 人

5 議題

（1）報告事項

- ① 平成 28 年度利用統計及び実績について
- ② 平成 28 年度図書館自己点検評価について
- ③ 中央図書館大規模改修について

6 議事の概要

- ① 平成 28 年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。
- ② 平成 28 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- ③ 中央図書館大規模改修について、事務局より報告を行った。

7 会議経過

- ① 平成 28 年度利用統計及び実績について事務局より報告を行った。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）年間 333 日も開館しているとのことだが、開館時間延長について、職員が残業しないで延長しているのか。

（回答）月曜日は非常勤職員のみで対応しサービスを限定して開館するなど、時間外勤務が増えないよう工夫している。開館時間延長によって本質的なサービスが手薄になるのは本末転倒と考えている。

（意見）報告では開館時間のみを挙げているが、実績を出すのにどれだけの経営資源（時間・資料費・職員数）をかけたのかが分からない。人口が増えて図書館数も増えたのに、職員が増えていない。市民 1 人当たりの貸出冊数は 12.1 冊で、全国平均 5 冊に対し倍以上あり、誇ってよ

いことである。目標とした貸出冊数 200 万冊というのは、キリがいいというだけで根拠がない。

(意見) 対前年度比ばかり出す傾向があるが、全国比や県平均と比較すると十分な実績ではないのか。現在はベテラン職員が支えている状況だから成り立っている数字でもあったと考えられる。今後、職員数が減ることを考慮して、合理的な目標設定をするほうがよいのではないかと。

(回答) 貸出冊数は、外部に対して図書館で最も分かりやすい数値である。しかし、図書館利用も貸出中心ではなくなってきており、図書館における様々なサービスや利用の実態を、意識して発信していきたいと考えている。

(意見) 改修工事でリニューアルした館や、駅から近い便利なサービスセンターは、市民が関心を持って利用し貸出が伸びている等、数字で見えることもある。マンネリを脱して、展示や案内を変えて、今後の運営に結び付けていってほしい。

(意見) 浦安は分館の活動が充実しているのが特色である。地方では格下に扱われる分館だが、浦安では継続したエリアマーケティングを行っており、分館を意識した運営が行われている。

(意見) 10 時開館は、利用する側にはあまり便利ではないのではないかと。

(意見) 職員は 8 時 30 分に来ている。高齢者世代は朝が早いので、早く開館してほしいという意見は分かる。職員が開館前と開館後に何をしているのかの PR が足りない。

(質問) 寄贈にはどんなものがあるのか。

(回答) 個人からの寄贈のほか、市役所等からの行政資料の寄贈がある。

(質問) ベストセラー本を何か月も待たされることもある。そういった本は寄贈を募ったらいいのではないかと。

(意見) 図書館として受け入れた資料を維持していくにはランニングコストがかかる。受け入れたら、数年置いておかなければならない。図書館は、ベストセラー以外に、高額で市民が簡単には購入できない本も買わなければならない、政策判断としては正しくないと思う。市民へ寄贈を呼びかけることに対して、出版社から苦情が出ているケースもある。市民からの質問に答えるためにも、積極的に収集基準を公開してはどうか。

(意見) 民間企業は市場にチャレンジしていくものだが、公共図書館をマクロの視点でとらえるのは難しい。図書館に足しげく通ってくる人の満足度はミクロの視点では重要だが、公共という場でどう捉えるべきなのか。貸出 200 万冊の目標をいきなり掲げるのはどうかと思うが、数値目標は無意味なのか。視点を変えた、次の目標を設定する必要があるのではないかと考える。

② 平成 28 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（意見）図書館の事業評価である。昨年度から取り組んでいることであり、新委員の方々にも説明をしていただきたい。

③ 中央図書館大規模改修について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（意見）9月にこの件について取り上げたいので、各委員は周りの市民の意見をまとめておいて欲しい。

（意見）今回の工事だが、総合駐車場が廃止になることについては図書館にはメリットはない。立体駐車場は距離的に遠い上に、道路を渡らなければならない。そこに車を停めて、子どもや車いす利用者が横断歩道を渡ってくるというなら、交通整理の人員を雇ったほうがよい。信号設置は検討しているのか。そういったことも、早めにご検討願いたい。

（質問）大規模改修工事の具体的な日程（予定）を知りたい。

（回答）設計が終了しないと工期は確定しない。市の実施計画には載っている事業ではあるが、進捗を確認しながら広報していきたい。

（意見）緑は多くなったけれど不便になった、駐車場が遠くなって危なくなった等がないようにして欲しい。

（意見）中央図書館が開館した当時、何もない田舎町にこんな施設を建ててもったいないという意見があったが、皆よく利用した。連日のように視察がやって来ていた。

（意見）大規模改修工事の広報として、Uモニ、来館者調査を行うとのことだが、最近の手法ではワークショップがある。決まっていないことを一緒に考えるもので、夢のようなことばかりではなく、例えばある市では市内に数館ある図書館のうち1館を減らさなければならないが、どの館を減らすかをテーマにして、ワークショップで市民と共に検討した事例がある。

（意見）改修後の図書館に期待している。リニューアル後に図書・情報館に名称を変更した図書館もある。宣言「浦安市立図書館の目指すもの」を継続するのか見直すのか等、今後の方向性を考える機会でもある。

（意見）工事後、開館前にはなるべく早くスケジュール情報が欲しい。

（意見）新しい図書館に期待している。斬新なものになるのか、市の方向性が現れると思う。

(回答) たくさんの課題を抱えているが、問題点を1つずつクリアしてよい運営をしていきたい。委員の方々の忌憚ない意見をこれからもお願いしたい。

以上